

2010年3月期(第77期)

## 決算概要

Humanity and Technology

株式会社ユニバンス

<http://www.uvc.co.jp/>

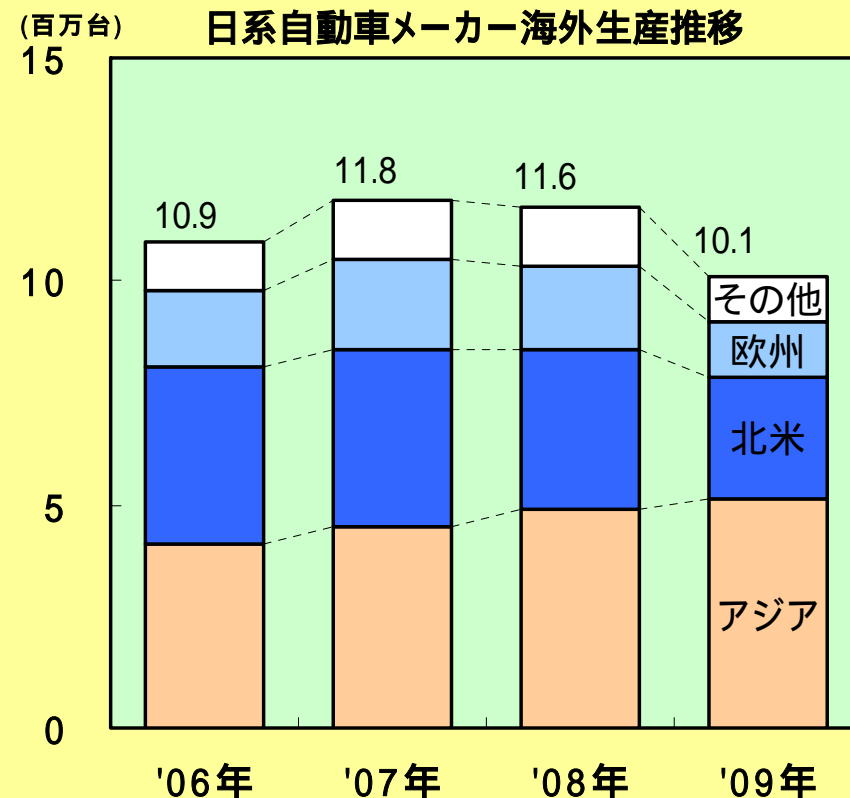
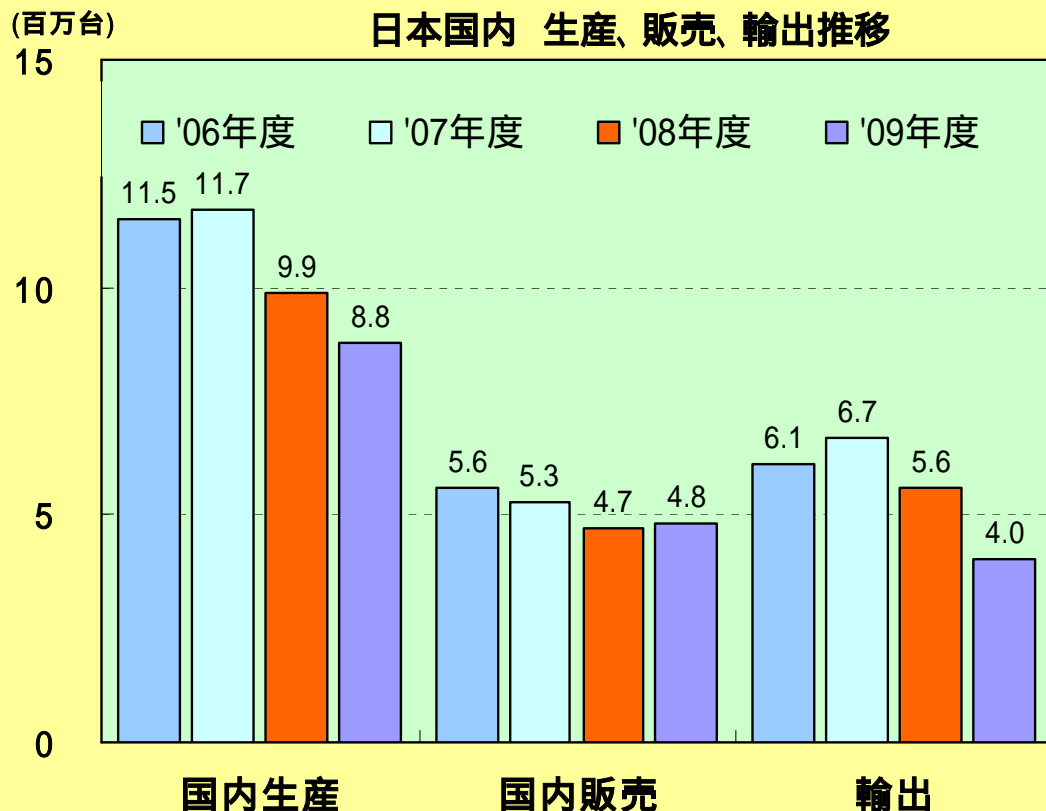
# 連結対象子会社

会社名		資本金	当社の 持株比率	主要な事業内容
国内	株式会社遠州コム	10百万円	100%	特殊メッキ加工業
	株式会社ウエストレイク	15百万円	100%	物流容器の洗浄と管理
	富士協同運輸株式会社	10百万円	61.5%	貨物自動車運送業
海外	ユニバンス INC. (米国)	19百万US\$	100%	自動車部品の製造・販売
	PT.ユニバンスインドネシア	6百万US\$	75%	同上

持分法適用会社      株式会社富士部品製作所      (持株比率 27.5%)



# 日系自動車メーカーの国内生産・販売・輸出、海外生産推移



資料: 日本自動車工業会 (海外生産は、暦年累計)

**国内生産: 31年ぶりの900万台割れ 前年度比 11.4%**

・国内販売: エコカー減税の効果による増加 前年度比 +3.8%

・輸 出: アジア地域以外の需要縮小と円高回避のための現地生産拡大による減少 前年度比 27.1%

**海外生産: アジア地域を除く各国の需要減少**



# 連結経営成績(通期)

単位:億円	'08年度	'09年度	前年度比較	
	実績	実績	増減額	増減比率
売上高	609.4	490.2	119.2	19.5%
営業利益	16.9	6.0	+10.9	
経常利益	15.2	6.7	+8.5	
当期純利益	55.9	25.8	+30.1	
為替レート 円/ドル	102.82	93.71	9.11	
ルピア/円	94.98	110.35	+15.37	

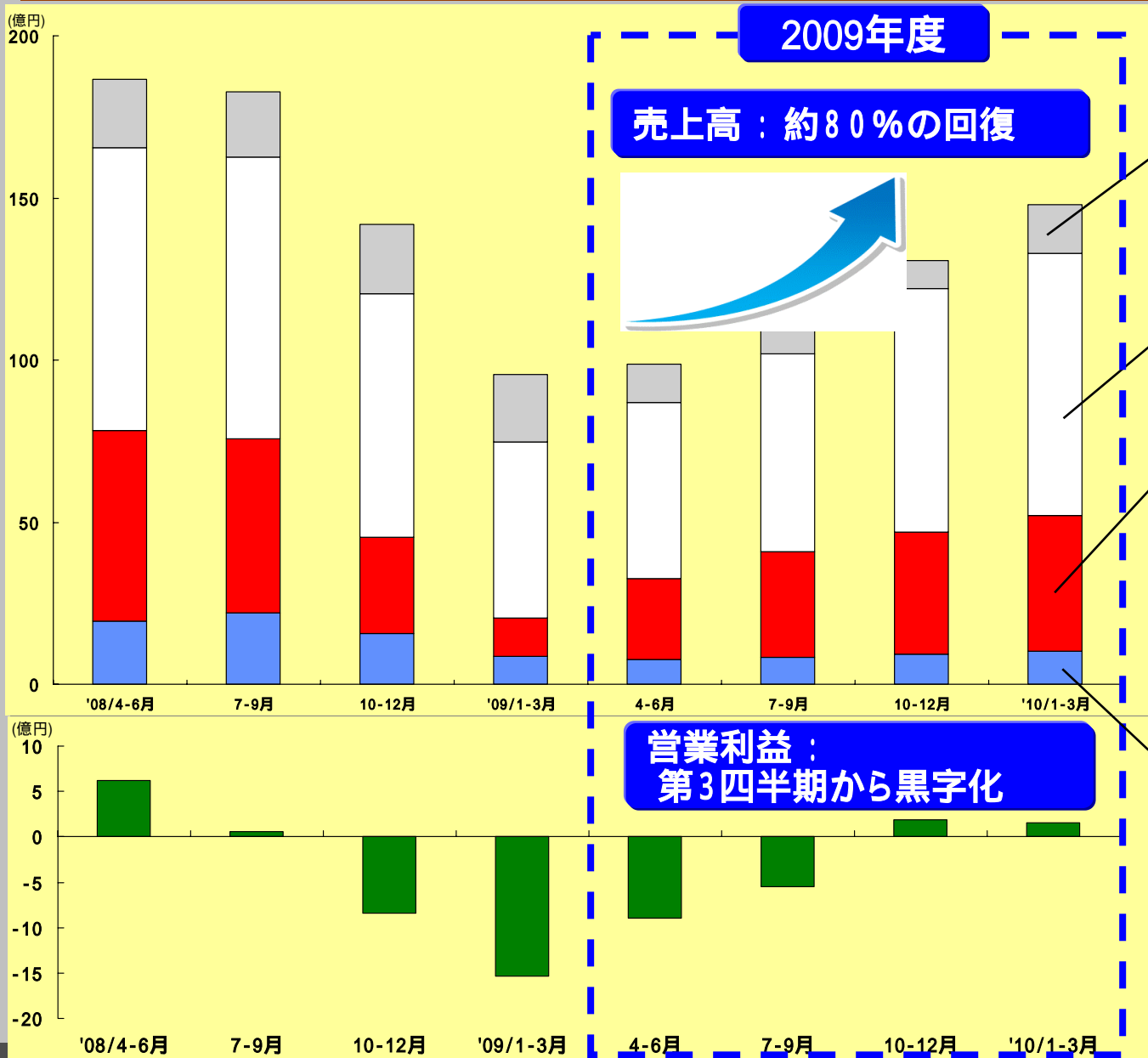
営業利益ベース：減収赤字幅縮小

- ・緊急活動による収益改善：下期黒字化（前年度比 +10.9億円）

当期純利益

- ・事業構造改善 14.1億円  
（ライン統廃合：10.0億円、早期退職支援金：4.1億円）
- ・減損損失：マニュアルトランスミッション事業：5.4億円  
大幅な操業度低下に伴う固定資産（機械装置）の減損損失

# 連結経営成績(四半期実績推移)



## 【産機事業】

・フォークリフト用T/M、減速機の  
落ち込み

## 【部品事業】

・ほぼ回復

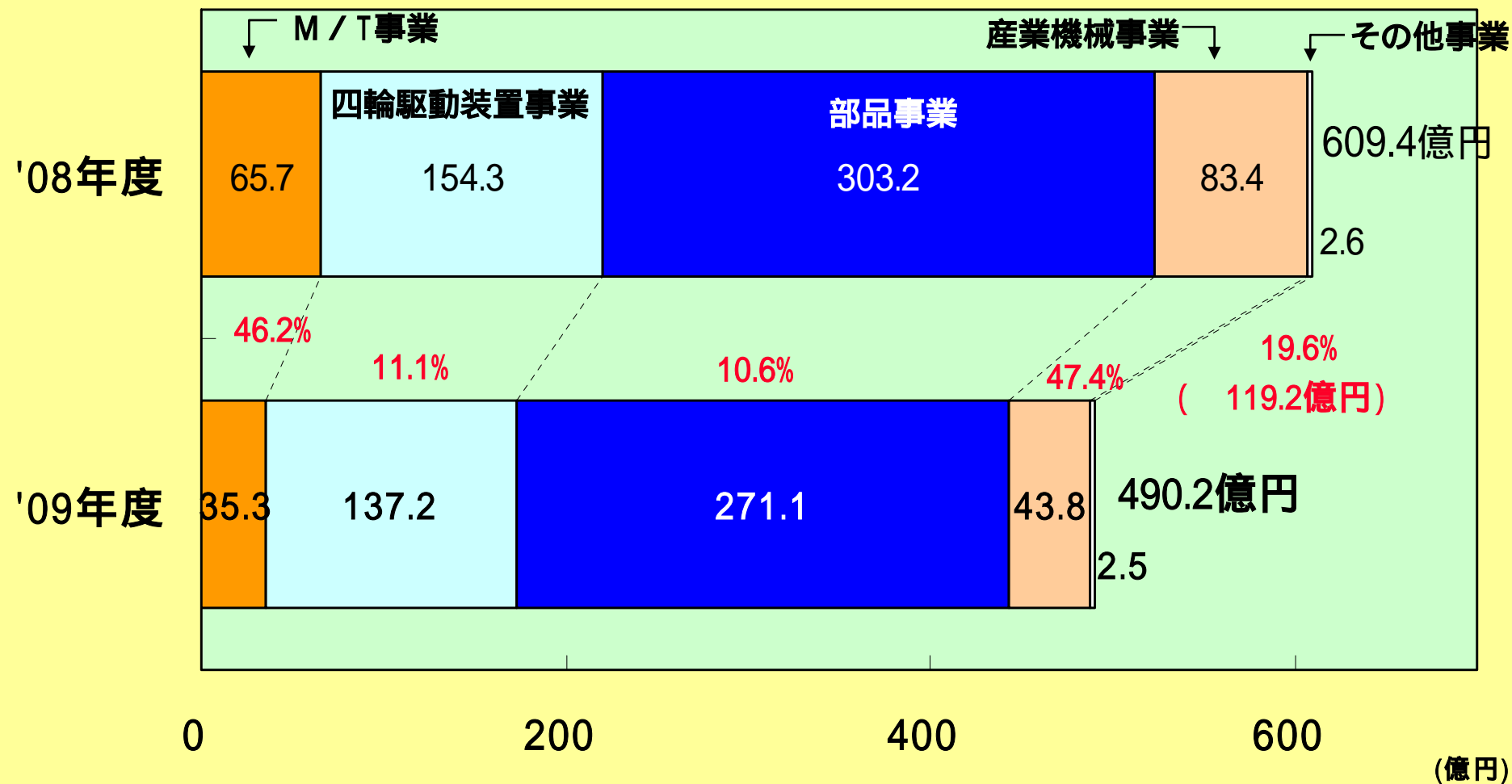
## 【四駆事業】

・北米向けSUV・ピックアップ  
トラック用T/F、ATV用デフの  
落ち込み

## 【M/T事業】

・中・小型トラック、SUV用M/T  
の落ち込み

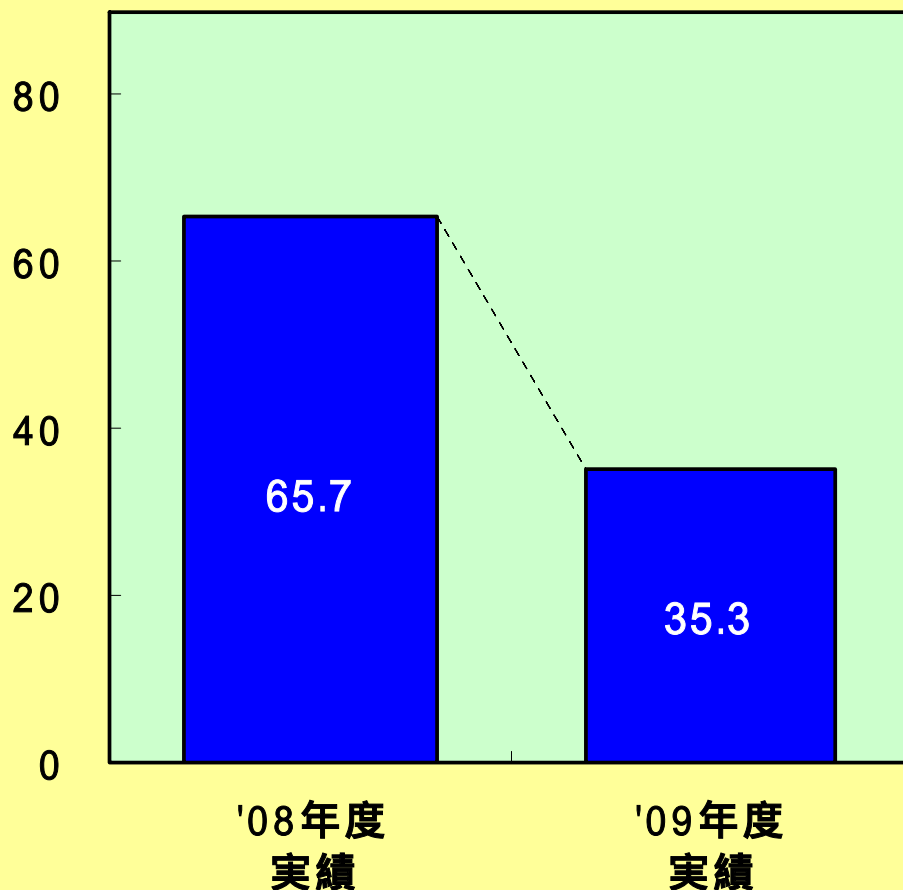
# 連結売上高(事業セグメント別)



# '09年度実績(M/T事業)

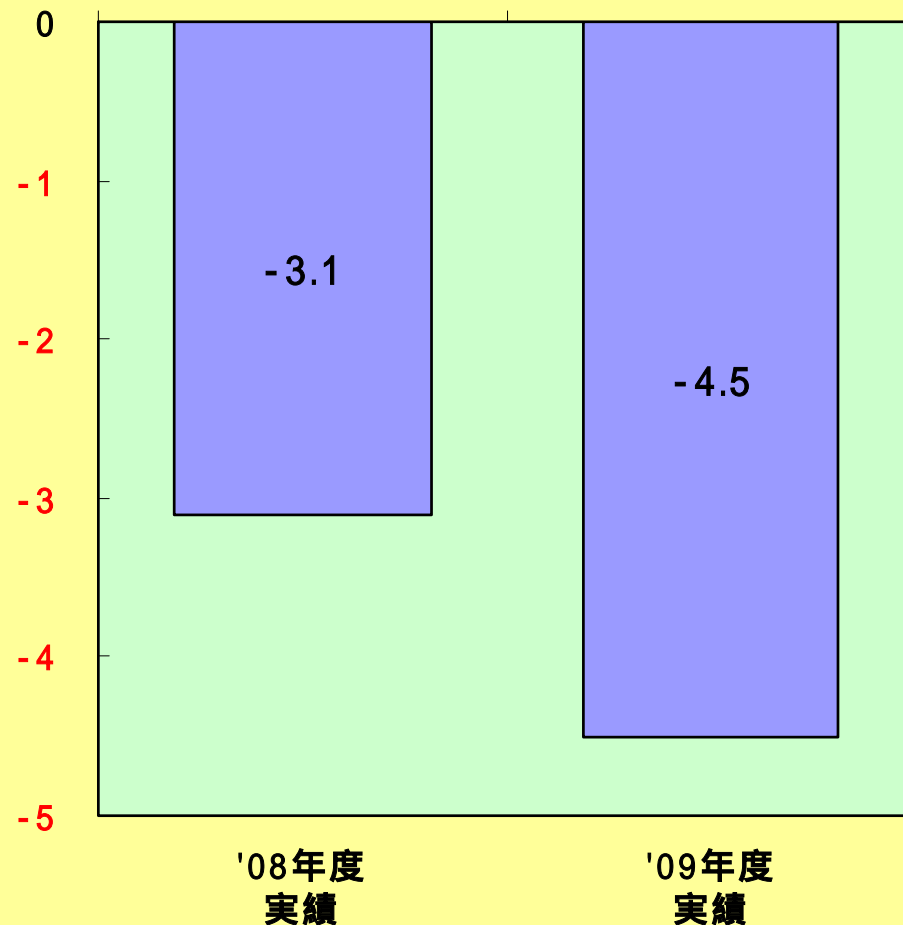
(億円)

売上高



(億円)

営業利益

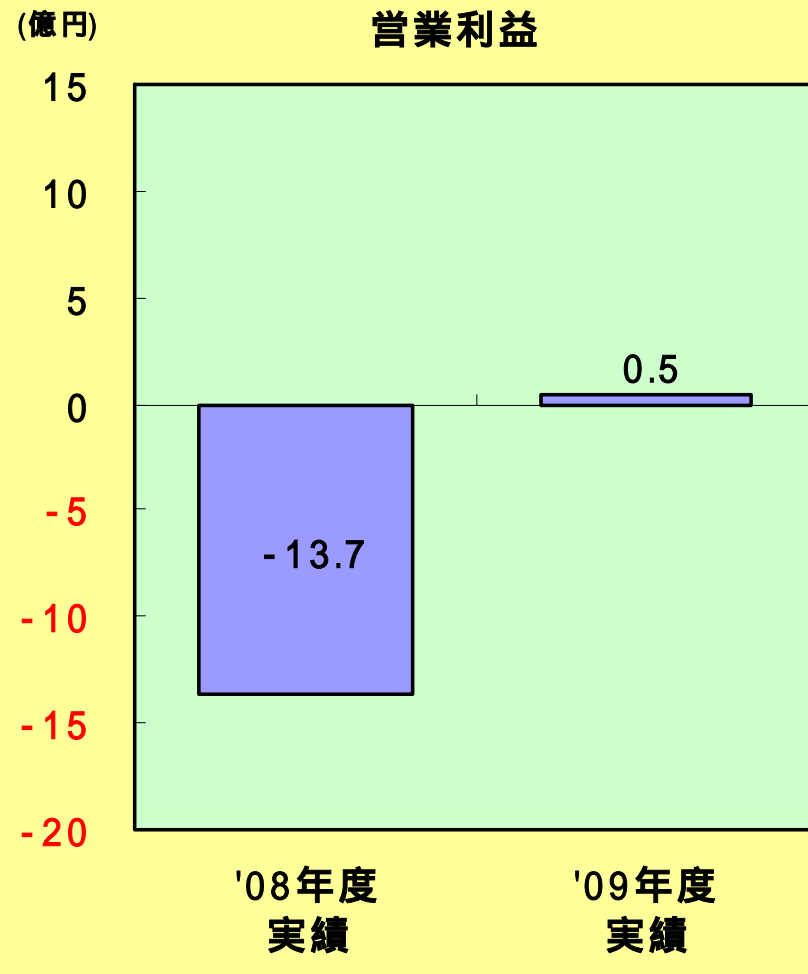
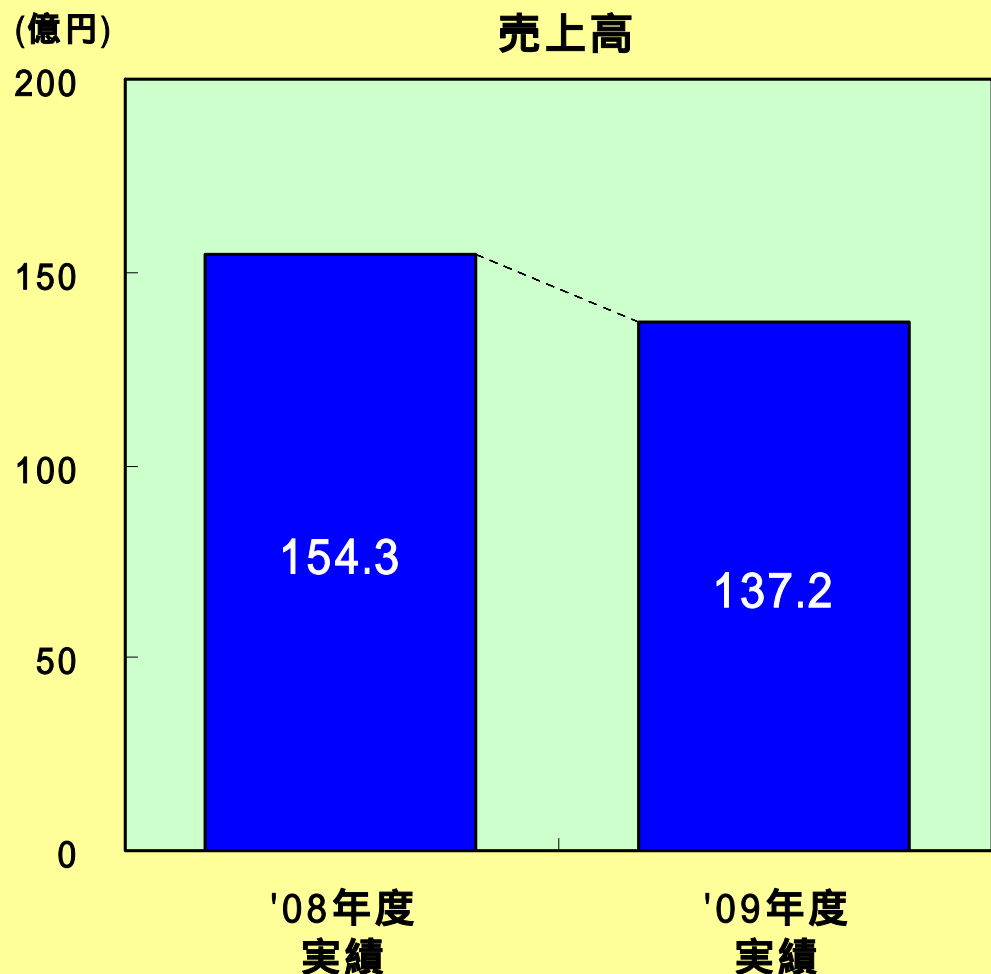


**減収減益**

**SUVおよび商用車M/Tの大幅な減少**



# '09年度実績(四輪駆動装置事業)

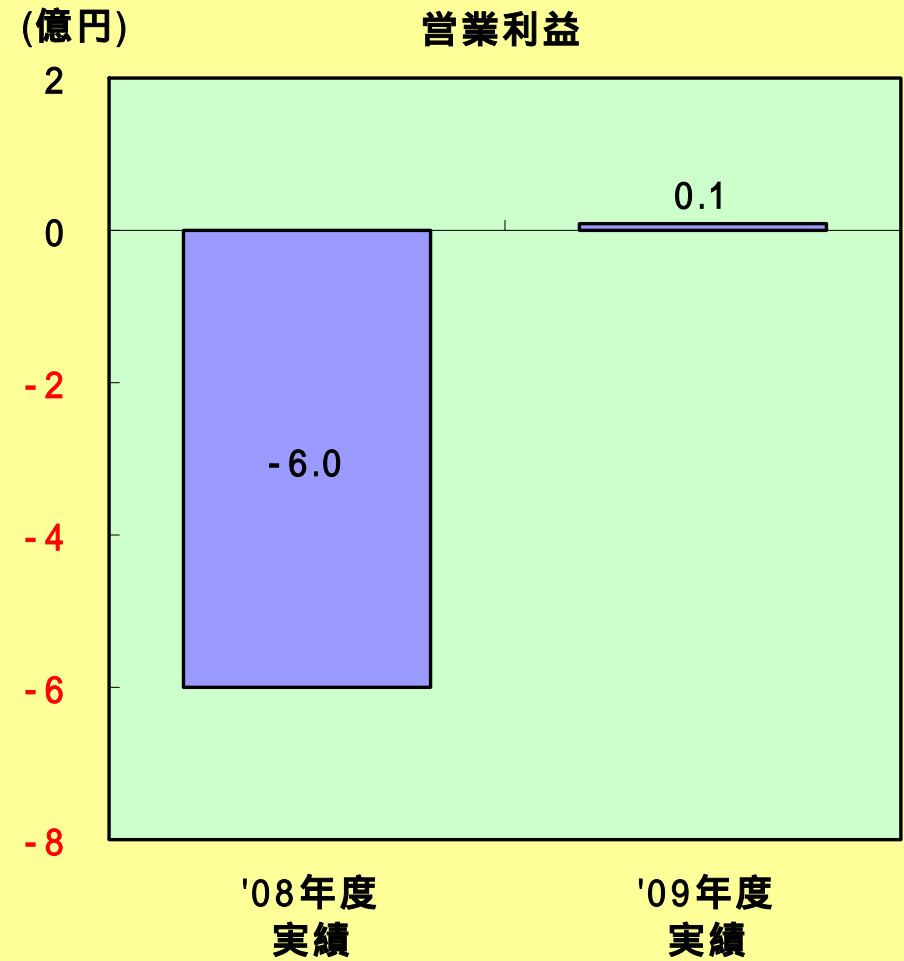
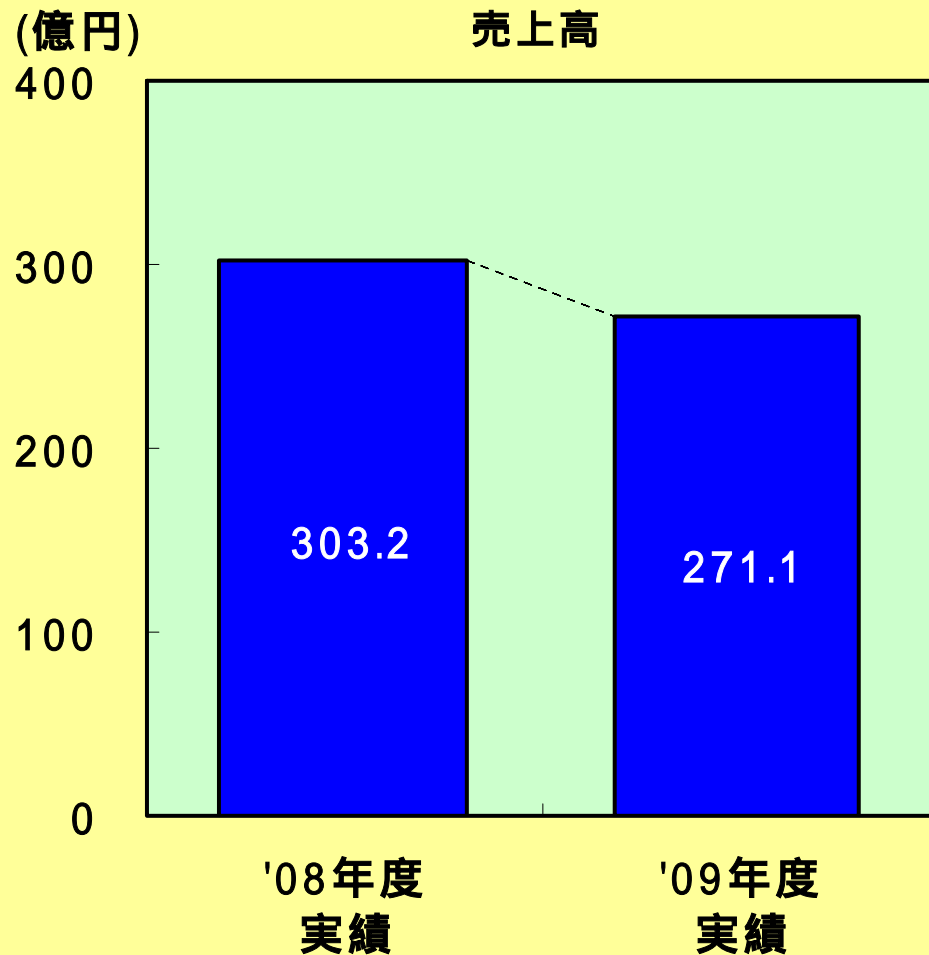


## 減収増益

SUV、ピックアップトラック用トランスファーは、減少したものの、合理化効果により黒字化



# '09年度実績(部品事業)

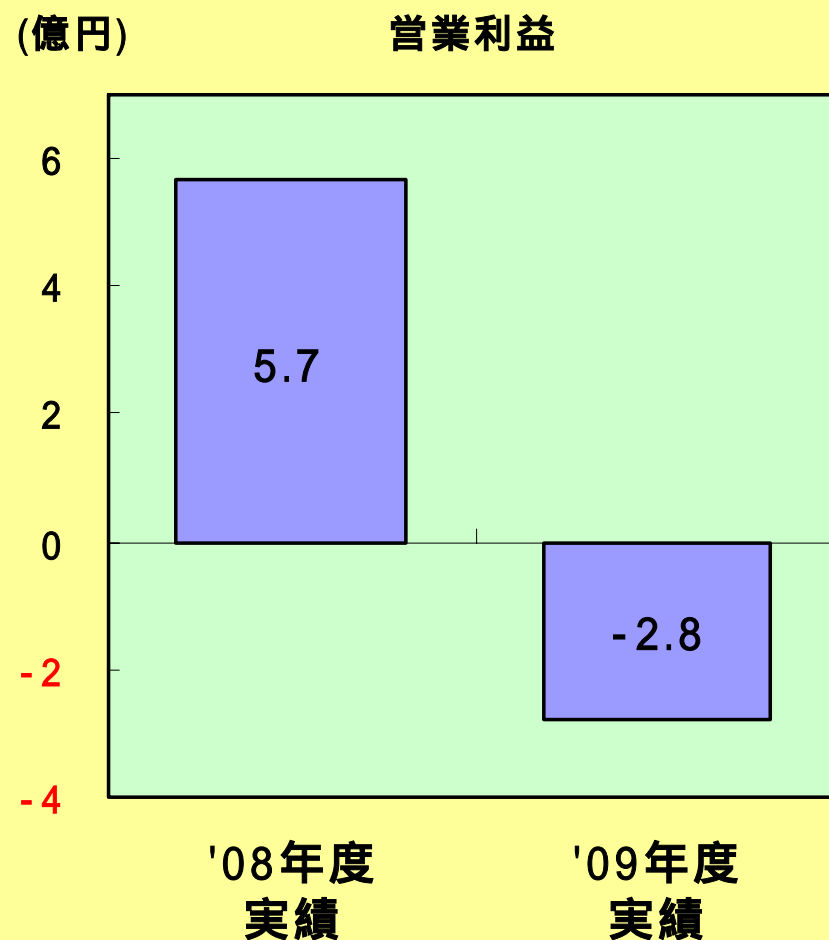
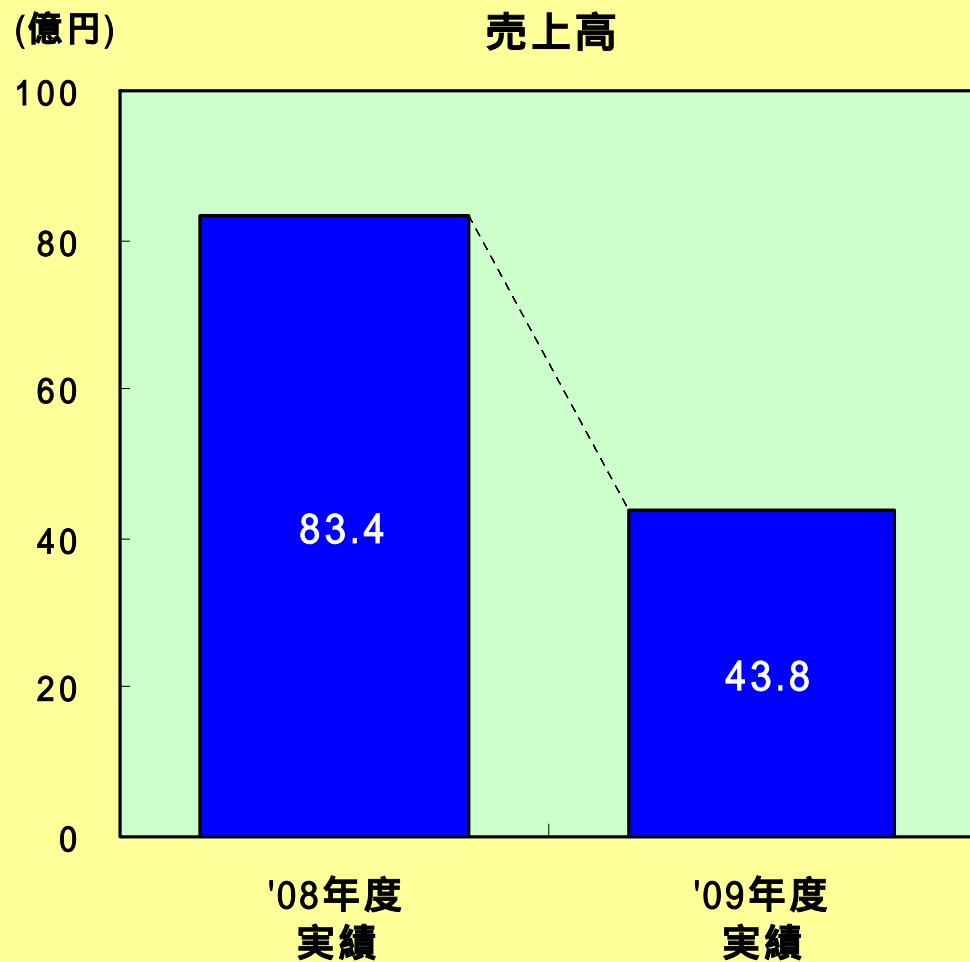


**減収増益**

**国内および北米向け製品が減少したものの、合理化効果により黒字化**



# '09年度実績(産業機械事業)



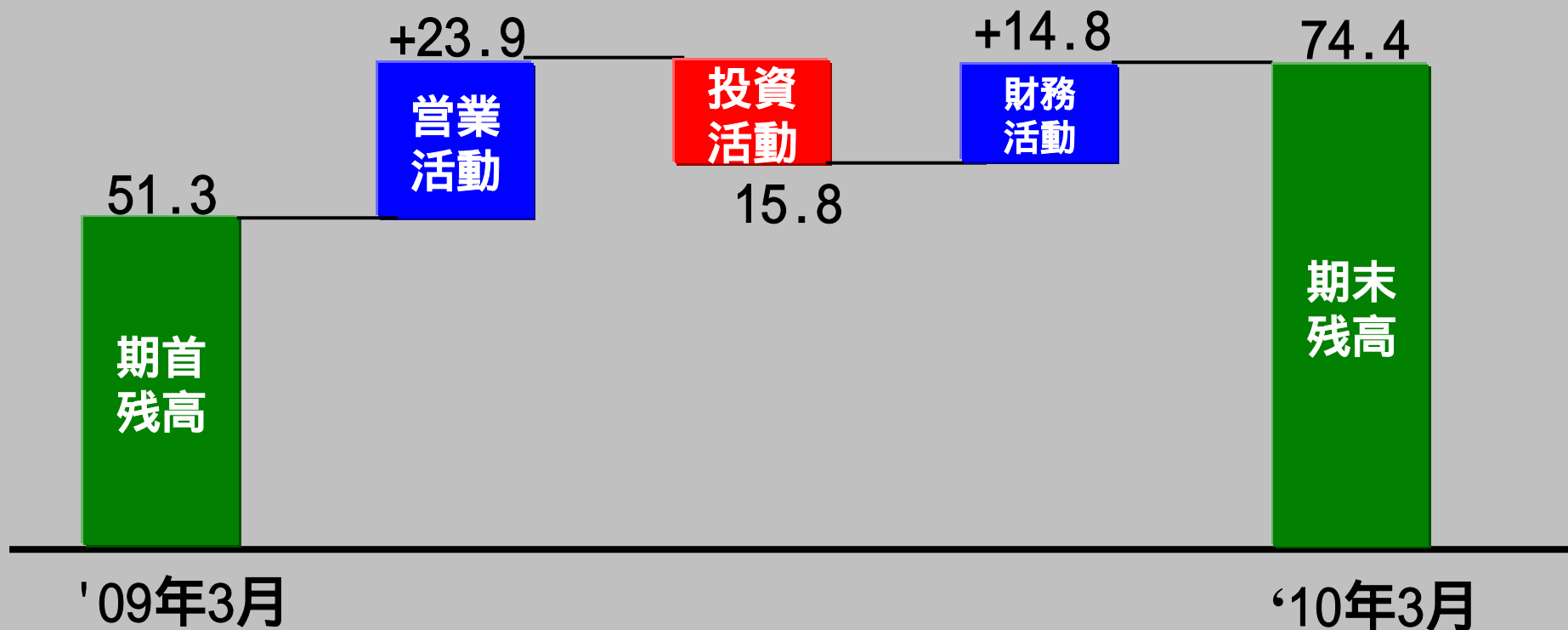
**減収減益**

**米国向け大型トラクター用トランスミッション大幅減少**

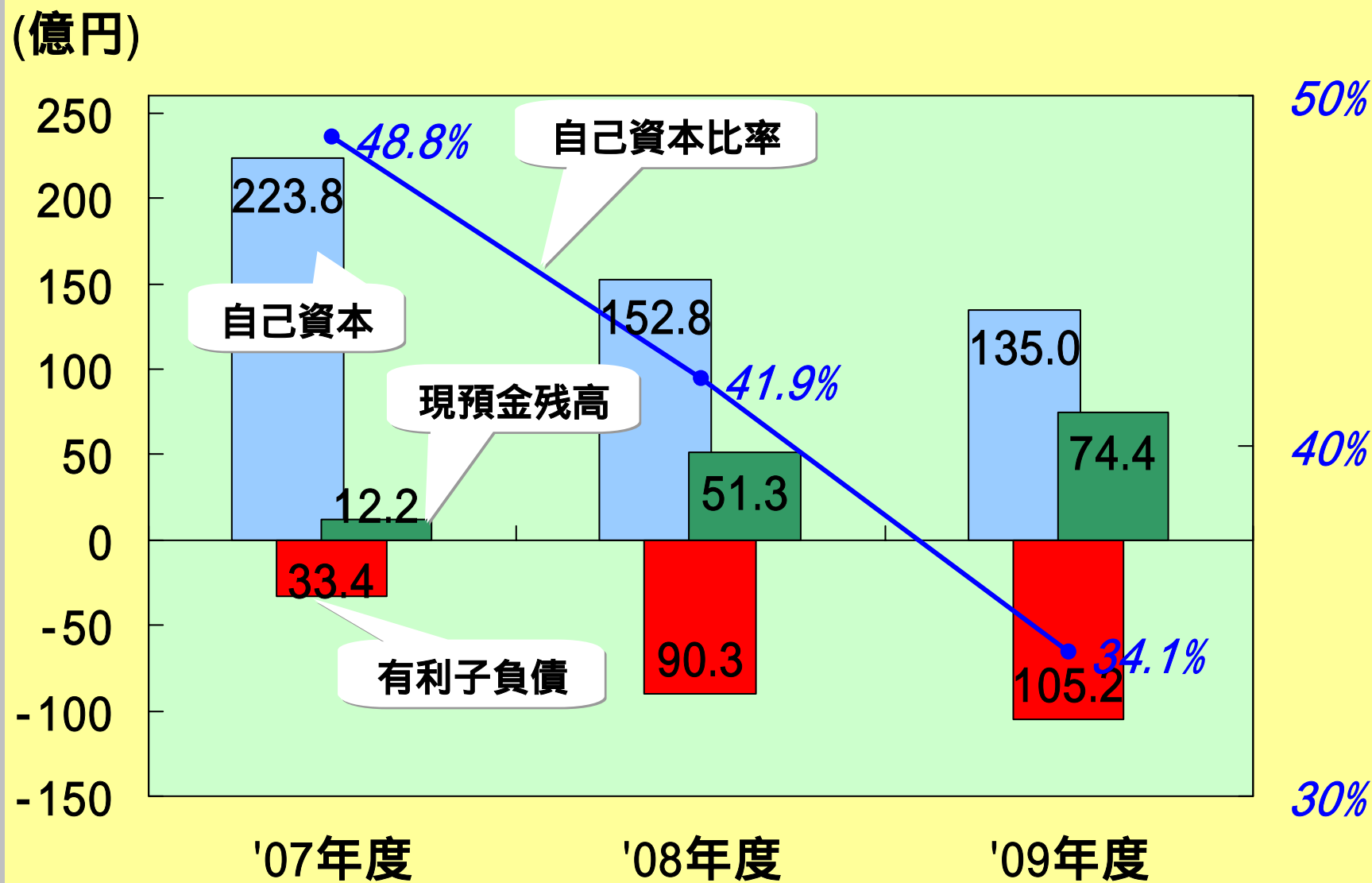


# 連結キャッシュフロー(連結)

(単位：億円)



# 有利子負債・自己資本推移(連結)



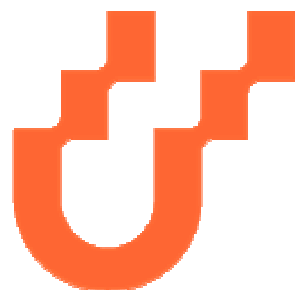
## 2011年3月期 連結通期業績予想

単位:億円	'09年度実績			'10年度 通期予想	前年度比較	
	上期	下期	通期		増減額	増減率
売上高	210.0	280.2	490.2	570.0	79.8	16.3%
営業利益	-14.4	8.4	6.0	11.0	17.0	
経常利益	-14.6	7.9	6.7	10.5	17.2	
当期純利益	-25.6	-0.2	25.8	9.5	35.3	
為替レート 円/ドル			93.71	90.00	3.71	
ルピア/円			110.35	105.00	5.35	

第78期については、復配予定（1株につき5円(内中間配当金2円)）

## 市場変化に対応した事業構造改革の更なるスピードアップ

- 1) 既存製品のFR車用ユニット市場である  
アジア・アセアン地域へシフト
- 2) 主力商品の再編
- 3) ライン統廃合による国内工場の再編
- 4) 原価低減活動



**UNIVANCE**  
Humanity and Technology  
**UNIVANCE CORPORATION**

<http://www.uvc.co.jp/>

## 将来見通しに関する注意事項

業績見通し等の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社として判断した見通しであり、その正確性を保証するものではありません。また、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があることを、ご承知おき下さい。投資に際しての最終的な判断は、お客様ご自身がなされるようお願い致します。